



平成 28 年度文部科学省「職業実践力育成プログラム」(BP)に認定されました。
社会人を対象とした実践的・専門的なプログラムです。

平成 31 年度
高齢社会における
地域活性化コーディネーター
養成プログラム

募集案内



杏林大学

目次

- 平成31年度「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」実施要領 P 1～4
- 開講科目について P 5
- 必修科目(特別講座A) P 6
- 選択科目 P 7
- 選択科目(特別講座B) P 9

巻末【受講希望者提出書類】

- 平成31年度「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修許可願
- 履歴書

〔同封物〕

- 書類提出用封筒 (郵送の際は **82円切手** を貼付してください。)

— 履修証明プログラム —

本講座(高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム)は、文部科学省の制定する学校教育法に基づく「履修証明プログラム」として実施します。社会人(市民)を対象としており、総時間数120時間以上のカリキュラムを修了し、本学による認定を受けた者に対して履修証明書が授与されます。

※ 履修者に対して単位や学位が授与されるものではありません。

平成 31 年度

「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」 実施要領

<趣旨>

本プログラムは既に地域活動を行われている方や、今後さらに地域活動を深めたい、広げたいと考えている方を対象に、地域振興やコミュニティに関する基礎知識や高齢社会における健康をめぐる諸問題を学びます。また、地域活動に必要なファシリテーション能力や対人理解能力、健康力アップ支援策の習得を目指し、更なるスキルアップを目指します。

本講座の開講は定年前後世代や高齢の方はもちろんのこと、どの世代の方にも「学び直し」、「学び続ける」機会を提供するものです。

<授業>

授業は必修科目と選択科目で構成されています。

必修科目（特別講座 A）については、年間（春学期及び秋学期）を通して 15 回の教室内講義で組み立てられ、選択科目は春学期または秋学期の中で、1 科目 15 回の授業で組み立てられています。但し、選択科目の特別講座 B はこの限りではありません。

必修科目は受講生全員に受講していただきます。

選択科目は特別講座 B を含め 32 科目を用意しておりますので、関心のある授業を 5 科目以上選択してください。

<修了証交付要件>

1 ヶ年（春学期・秋学期）のうちに上記の科目（必修科目、選択科目 5 科目以上）を履修して修了要件を満たした場合に「履修証明書」を発行します。

修了要件として、各授業の出席率が 2/3 以上（全 15 回中 10 回以上の出席）であることを原則とします。ただし、災害など非常時下における個人的事由によらない場合は、出席率が満たなくても、履修証明書を交付することがあります。

<資格・対象者>

- ・高等学校を卒業した者又はこれと同等以上の学力を有する社会人（市民）
- ・地域活動を既に行われている方、今後さらに地域活動を深めたい、広げたいと考えている方

<開設期間>

平成 31 年 4 月から翌年 3 月までの期間（1 ヶ年）となります。

<履修に際して>

- ① 講義は本学学生とともに履修し、課題についても学生と同様にレポート提出等を前提とします。
- ② 授業に臨む意欲や態度、積極性、判断、思考やレポート等の課題内容、面談により成績評価を行います。
- ③ 出席状況の確認を含めて期中に中間指導を実施します。

<登録料・履修料・諸費用>

対象者	登録料	履修料
3市（三鷹市、八王子市、羽村市）のいずれかに在住、在勤の方	45,000円 (1カ年分)	無料
上記以外の区市町村に在住、在勤の方		100,000円

※実験、実習等に要する費用、その他、教材等に要する費用は、履修生の負担となります。

※お支払いいただいた履修料等はお返しできません。

<開講場所>

杏林大学井の頭キャンパス ※駐車場、駐輪場はございません。

※教室については、ガイダンス時にお知らせします。

<応募方法>

当プログラムの履修を希望する方は、応募期間内に次の4点を本学地域交流課宛に郵送もしくは直接ご提出ください。

- (1) 「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修許可願（所定書式）
記載内容の確認のため電話連絡をさせていただく場合がありますので、日中連絡のつく電話番号を記載してください。
- (2) 履歴書（所定書式） ※巻末添付・要写真（3cm×2.4cmの縦長）
地域活動の関わりや、今後どのような地域活動を行いたいかについて詳細に記載してください。
- (3) 履修の資格を証明し得る書類（卒業証明書等の入手が困難な方はご相談ください。）
- (4) カラー顔写真（3cm×2.4cmの縦長） ※履修生カードを作成する際に使用します。

<応募期間>

平成31年2月1日（金）から2月28日（木）必着締切です。

直接ご持参される場合には2月28日（木）17:00までに地域交流課にお越しください。

地域交流課：井の頭キャンパス C棟1階事務室

<定員>

最大20名

<選考結果の通知>

書類選考の上、平成31年3月5日（火）に通知を発送致します。

履修許可書とともに同封されている振込用紙で履修料等をお振込みください。納入確認後、授業要目をお送りします。

<お問い合わせ> 井の頭キャンパス 地域交流課 (C棟1F事務室内)

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀5-4-1

TEL : 0422-47-8052 FAX : 0422-47-8054

MAIL:area@ks.kyorin-u.ac.jp

(平日・9時~17時15分、土・9時~13時、日・祝休)



お願い

井の頭キャンパスには徒歩または公共交通機関を利用してお越しください。

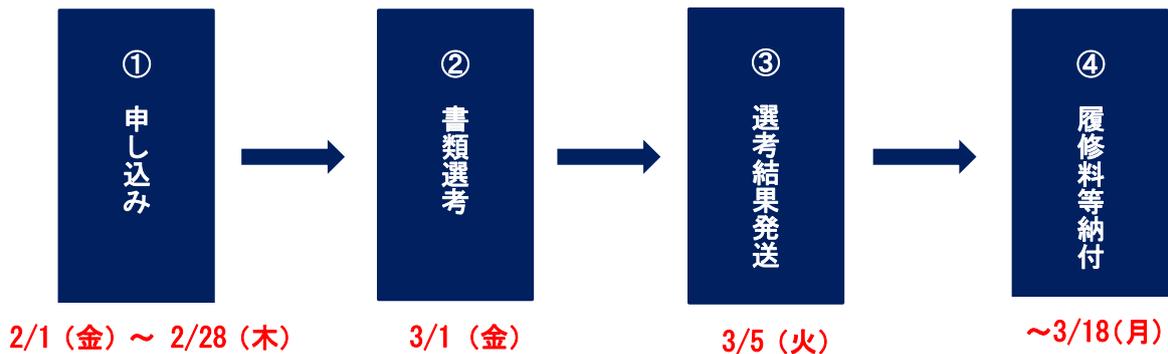
※井の頭キャンパスへのアクセスの詳細は、右のQRコードからご確認ください。



－ 応募に必要な書類を再度ご確認ください －

- (1) 「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成講座」履修許可願（所定書式）
- (2) 履歴書（所定書式） ※巻末添付・要写真（3 cm×2.4 cmの縦長）
- (3) 履修の資格を証明し得る書類（卒業証明書等の入手が困難な方はご相談ください）
- (4) カラー顔写真（3 cm×2.4 cmの縦長）

－ 応募の流れ －



－ 応募後のスケジュール －

- 平成 31 年 3 月末までに授業要目送付（履修料等納付済みの方）
- 4 月 3 日（水）新学期オリエンテーション
- 4 月 4 日（木）授業開始
- 4 月 19 日（金）選択科目の提出締め切り



開講科目について

授業は必修科目と選択科目で構成されています。必修科目（特別講座 A）は、年間（春学期及び秋学期）を通して 15 回の授業で組み立てられ、選択科目は春学期または秋学期の中で、原則 1 科目 15 回の授業で組み立てられています。（集中講義・特別講座 B を除く）

必修科目と、選択科目 5 科目以上を選択履修し、合わせて 6 科目（135 時間）以上を履修していただきます。

授業日が祝日や行事と重なった場合には補講を行います。

■ 必修科目（特別講座 A） ※詳細は P6 を参照

受講生全員必修です。

原則的に水曜日、6 時限（18：00～19：30）の受講となります。

1 年間で 15 回の講義を用意しております。

■ 選択科目 ※詳細は P7・8・9 を参照

指定する 32 科目（特別講座 B を含む）より 5 科目以上の科目を選択履修していただきます。

特別講座 B は原則的に水曜日、15：30～17：30 に開講します。

■ 時間割

1 時限	9：00～10：30	4 時限	14：40～16：10
2 時限	10：40～12：10	5 時限	16：20～17：50
3 時限	13：00～14：30	6 時限	18：00～19：30

※特別講座 B の開講時間：15：30～17：30（原則）

必修科目（特別講座A）

テーマ：『都市型高齢社会におけるまちづくり』

都市型高齢社会、グローバル社会における様々な課題は、国だけではなく、地域づくりを考えた時にもこのような背景抜きには考えることができません。同時に地域内でのつながりの創出やコミュニティを考え、さらには異文化コミュニケーションなどの知識、健康で活力ある生活を実現するための多様な基礎知識を学び、地域活動や地域リーダーとして生かす技法を学びます。

オムニバス形式講義（全15回）

原則的に水曜日、6時限（18：00～19：30）に開講

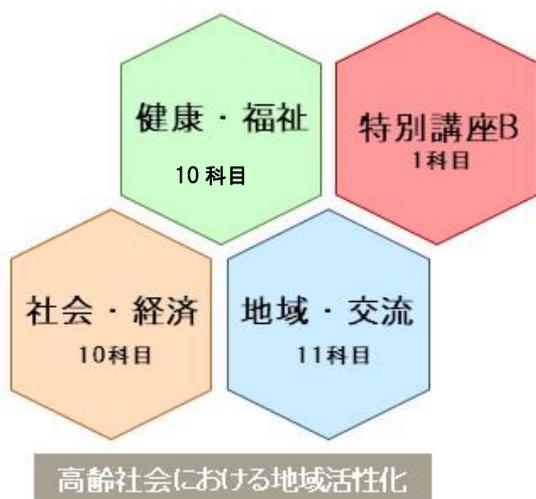
回	日程	授業内容	教員
第1回	4月24日	「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」とは	古本泰之（外）
第2回	5月8日	災害対応を含むコミュニケーション論	八木橋宏勇（外）
第3回	5月29日	人と人をつなぐ宿泊産業と地域活性化	西山桂子（外）
第4回	6月5日	日中文化交流の現場から見る〈友好〉	池田尚広（外）
第5回	6月26日	公共サインのガラパゴス化と地域社会のグローバル化	倉林秀男（外）
第6回	7月3日	都市型高齢社会と税	原田奈々子（総）
第7回	7月24日	高齢者の住まいの選択肢と法・政策	松井孝太（総）
第8回	9月25日	コミュニティについて考える	進邦徹夫（総）
第9回	10月2日	地域で支える認知症	岡村裕（総）
第10回	10月30日	認知症にやさしいまち	神崎恒一（医）
第11回	11月6日	認知症へのリハビリテーションアプローチ（予防から終末期まで）	齋藤利恵（保）
第12回	11月27日	人生100年時代アドバンスケアプランニングで自分の人生の最期を描こう	角田ますみ（保）
第13回	12月4日	やさしい遺伝のしくみ	八巻明子（保）
第14回	12月18日	摂食嚥下機能と口腔ケア	寺島涼子（保）
第15回	1月8日	都市型高齢社会で必要なこと	石井博之（保）

※オムニバス形式講義とは

いくつかの独立したストーリーを並べて全体でひとつの授業にしたものです。

選択科目

高齢社会における地域活性化を「健康・福祉」「社会・経済」「地域・交流」の3つの分野・視点から学ぶことができるよう、全体で31科目の授業を設けています。また、地域活動を展開するうえで必要な基礎知識・技術を学ぶことができる「特別講座B」を設けています。その中から興味・関心のある科目を5科目（1科目15回の授業で構成）以上選択して頂きます。なお、時期・曜日・時限については変更の可能性がありますので、ご了承ください。



9 ページ参照

下記の31科目+特別講座B
より5科目以上を選択

提供学部 保：保健学部 総：総合政策学部 外：外国語学部

No	分野	時期	曜日	時限	科目名	提供学部
1	健康・福祉	春	火	2	乳幼児・児童心理学/脇谷 順子	保
2			木	4	カウンセリング/脇谷 順子	保
3			木	5	臨床心理学概論/村部 妙美	保
4		秋	月	3	健康スポーツ科学(健福)/平澤 愛	保
5			火	1	健康社会学/北島 勉	総
6			木	2	老人福祉論/片桐 朝美	保
7			木	2	発達臨床心理学/櫻井 未央	保
8			木	2	介護政策論/岡村 裕	総
9			金	1	社会福祉学/岡村 裕	総
10		集中	8月下旬～(予定)		救命救助法/千田 晋治	保
11				月	2	租税法 I /知原 信良

12	社会・経済	春	月	4	時事問題研究B/島村 直幸	総
13			火	1	医療経済学/北島 勉	総
14			木	3	環境政策論/小野田 欣也	総
15		秋	月	2	出店戦略/加藤 拓	総
16			月	2	租税法Ⅱ/知原 信良	総
17			火	2	イノベーション論/糟谷 崇	総
18			火	2	法学の現代的課題/北田 真理	総
19			木	1	生活と法/大西 健司	総
20			金	4	国際会計論/内藤 高雄	総
21			地域・交流	春	月	2
22	水	3			実用英語演習Ⅰ/八木橋 宏勇	外
23	木	2			アジアの文学・文化(韓)/鄭 英淑	外
24	木	5			異文化コミュニケーション/坂本 ロビン	外
25	秋	月		2	日中比較文化論Ⅱ/詹 満江	外
26		月		4	地域圏研究Ⅰ(中国)/藤田 由香利	外
27		火		4	観光学入門/古本 泰之	外
28		水		3	実用英語演習Ⅱ/八木橋 宏勇	外
29		木		2	地域圏研究Ⅱ(韓国)/鄭 英淑	外
30		木		5	地域圏研究Ⅲ(北米)/坂本 ロビン	外
31		金	2	Public Speaking/Michele Joel	総	

注：時期・曜日・時限については変更の可能性があります。

1時限	9:00~10:30	4時限	14:40~16:10
2時限	10:40~12:10	5時限	16:20~17:50
3時限	13:00~14:30	6時限	18:00~19:30

選択科目 (特別講座 B)

テーマ：『地域活性化の理論と実践』

地域で活動する経験豊かな方々の実体験を踏まえた多様な視点を通して、地域に関する活動の在り方や進め方を理解します。また、地域をフィールドとした実践的な演習に取り組むことで、地域活動を展開するうえで必要な基礎知識・技術を学びます。学習方法はアクティブラーニング方式を中心とします。

原則として、水曜日 15:30 ～ 17:30 に開講

回	日程	授業内容
第1回	5月8日	地域活動をめぐる諸問題
第2回	5月29日	地域の価値を創る
第3回	6月5日	先進的活動家による実践報告①
第4回	6月26日	先進的活動家による実践報告②
第5回	7月3日	地域活動トークセッション(地域・大学・行政の連携)
第6回	7月24日	計画・立案とプレゼンテーションの技法を学ぶ
第7回	9月4日	地域の魅力づくり～地域発商品開発を目指して～ ①
第8回	9月25日	地域の魅力づくり～地域発商品開発を目指して～ ②
第9回	10月2日	地域の魅力づくり～地域発商品開発を目指して～ ③
第10回	10月中土曜	企画の具体化①(準備活動) ※
第11回	11月中土曜	企画の具体化②(実践活動) ※

※本講座は、教室内講義と学外フィールドワークで構成されます。

※第1回～第9回の講義は、原則として1回2時間で実施されます。

第10回～第11回については、学外活動のため、4.5時間を超えての実施となります。(特別講座A、選択科目とは異なります)

※講師等の都合により、日程は変更となる可能性があります。

平成 31 年度

「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」履修許可願

キ
リ
ト
リ

登録番号 ※大学記入													性別
フリガナ												男・女	
氏名													
生年月日	昭・平 年 月 日 (歳)												
連絡先	〒 -												
	TEL - -												
	E-mail												
	(勤務先住所)												
緊急連絡先	(フリガナ)					続柄					TEL	-	-
	氏名												
所属	<input type="checkbox"/> 3市(三鷹市、八王子市、羽村市)のいずれかに在住、在勤の方 <input type="checkbox"/> 上記以外の区市町村に在住、在勤の方												
志望動機	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>												
※大学記入欄											受付		
登録・履修料 _____ 円											書類確認		
											許可書発送		
											受講料納付		

※ご記入いただいた個人情報については適正に取り扱い、「高齢社会における地域活性化コーディネーター養成プログラム」運営以外の目的では使用しません。



杏林大学 井の頭キャンパス 地域交流課 (C棟 1F 事務室内)

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1

TEL : 0422-47-8052 FAX : 0422-47-8054

MAIL : area@ks.kyorin-u.ac.jp